

令和 7 年度 事 業 報 告

概 要

「地域社会と共に歩むシルバー人材センターを目指して」を掲げて、令和 7 年度においても様々な事業を展開してきました。前年度に引き続き懸案となっていました「フリーランス新法」の制定などに対応した新契約方法への移行、人手不足分野での就業開拓や技能取得、地域実情に即したニーズへの対応など、地域社会の課題の担い手としてさらに存在意識を高めるため取り組んできました。

事業実績としては、令和 8 年 3 月末の会員数は 730 人（前年度 726 人）で、対前年度比 4 人の増。契約金額は 383,262,648 円（前年度 366,058,484 円）で、対前年度比 17,204,164 円の増で過去最高額となりました。これらは市民の皆様や各事業所のご理解、市をはじめとする関係団体のご協力をいただいたおかげと感謝いたしております。

令和 7 年度事業計画に基づく結果については次のとおりです。

記

1. 活力ある組織の確立

(1) 公益社団法人としての確な組織運営、財政運営の確立（フリーランス法に対応した契約方法の見直し）

新しい契約方法（包括契約）に関しては、すべてのお客様にご理解をいただき締結することができた。

(2) 経営にあたる役員(理事等)の意識高揚の拡大

理事会及び会報等によりセンターの運営状況を定期的に報告するとともに、専門部会、委員会では、各分野の課題を共有し意識を高めた。

(3) 地域(地区・班)における会員相互の連携による活動の推進

- ・センター情報誌等を、地域班を通じて定期的に配布し、地域の連携を深めた。
- ・地区別班長会を実施し、センターの課題や地域ボランティア活動等について意見交換を行うとともに、地域ボランティア活動を通じて会員相互の交流を図った。

(4) 職群班における共働・共助の意識の高揚

- ・職群班の意識高揚のため 10 月のボランティア活動へ参加するとともに、安全作業に関する情報提供等を行い職群班意識の高揚を図った。
- ・会員が講師となり、技術後継者育成のための講習会を実施した(剪定・刈り払い)。
- ・作業班ごとの会議を設け、班の課題協議や会員相互の交流を図った。

(5) デジタル化による業務の効率化及び会員のリテラシーの推進

- ・事務処理のデジタル化による効率化を図るために、会員向けにスマートホンのシステム登録を実施し、デジタル機器の活用を促した。
- ・スマホによる配分金通知やセンターからのお知らせ等の配信を実施し、事務の効率化を図った。

(6) 公益法人制度改正への対応

制度改正に関する説明会へ参加し、改正の内容や更新手続き（デジタル申請等）の研究を行った。

(7) 中期事業計画の策定(令和8年度～令和12年度)

総務部会・事業部会・広報部会においてセンターの将来へ向けた課題・施策を検討し中期事業計画を策定した。

2 安全の徹底と適正就業の推進

(1) 安全確保と事故防止に向けた安全パトロールの実施と指導強化

安全対策委員会による安全パトロールを毎月実施し、安全作業への意識を高めた。

また、パトロールでの結果を関係する職群へ周知した。

(2) 「安全なくして就業なし」の自覚のもと自主点検・自己管理及び作業班での管理の徹底

安全講習会を夏期・冬期の2回実施し、合わせて90人の参加があった。その際には消火・避難訓練などについての講話を受講するとともに、グループ討議においては就業中の事故に関し、事故要因や防止策の討議・意見発表を行い、自主点検・自己管理及び作業班での相互点検・確認の重要性を学んだ。

(3) 健康管理のための研修充実と健康診断受診の奨励

夏季の安全講習会においては健康管理講座(熱中症予防・対策)を実施した。

互助会主催の「血管年齢測定会」に協力し、会員の健康意識を高めた。

(4) 入会時や入職時及び経験年数に応じた教育・各種研修の実施

・入会説明会を毎月2回実施し年間で140人の参加があった。

・派遣会員に対しては、計画的に研修を行い13人が受講した。

(5) 事故の要因の分析・検証、及びその結果の周知体制の強化

安全対策委員会及び安全講習会において発生事故の状況報告や原因の分析を行うとともに、会員向けに事故の発生状況を報告し、安全就業に関する意識の共有を図った。

3 就業機会の拡大と会員力の向上

年間目標契約金額 368,000 千円に対し実績は 383,262 千円で、達成率は104.1%となった。

(1) 会員のスキルアップ、及び作業技術者の育成と技術の継承を図るための、ニーズに合った研修・講座の開催

刈り払い機安全取扱講習会(5月)、初級向け剪定技能講習会(2月)、スマホ登録会を随時実施し、会員の技術取得を行った。

(2) 地域のイベントや地元メディア等を活用したセンター事業のPR

市内5地域においてボランティア清掃活動等を実施し、地域貢献をPRした。

(3) 人手不足分野や今後需要が見込まれる分野における研修の充実及び企業等との連携
会員不足が懸念される剪定作業、刈り払い作業における技能講習会を実施し、会員の技術向上を図った。

(4) シニア層を対象とした就労サポート機能の強化

会員向けの求人情報端末において掲載件数の充実を図った。

(5) 会員による独自事業の推進

パソコン事業、精霊船製作等を継続実施し、会員の自主性と創造性を高める事業を推進した。

4 会員の拡大

年度末目標会員数 796 人に対し実績は 730 人で、達成率は 91.7%となった。

(1) 市民を対象とした魅力ある講習会の開催による会員確保

市民も参加できる講習会として、女性健康エクササイズ教室、初級者向け剪定講習会、刈払い機作業安全衛生教育、環境・エコ講座を実施した。

(2) 身近なメディア及び会員のアイディアを活用した PR の展開

・会員が企画・出演した CM ビデオをケーブル TV で継続して放映した。

・センター行事（門松寄贈、環境・エコ講座）が TV 等にて取り上げられ、活動を PR することができた。

・市役所が使用する封筒やタウン誌への広告掲載を実施し、入会者獲得を図った。

(3) 会員による積極的な入会促進（一人一会員）

会員からの声掛けや仕事ぶりを見たというのが入会の大きな動機付けとなっており、会員へは随時呼びかけをお願いするとともに入会会員紹介制度による入会者が 29 人となった。

(4) 女性会員及び夫婦会員の増へ向けた展開

・女性会員を前面に出した CM を行い、女性をターゲットとした広報を展開した。

・年間女性入会者数 39 人（前年 24 人）、年度末女性会員数 244 人（前年 234 人）、夫婦会員数 43 組（前年 41 組）

(5) 女性協議会活動を通じたセンターの魅力発信

女性健康教室や環境・エコ講座を開催し、多くの市民参加があった。

(6) 高齢者雇用安定法改正に伴う会員確保の充実

・入会年齢が高齢化する中、センターは働くだけではなく高齢者の充実した日々の活動や健康維持の面においても魅力があることを意識した広報を行った。

5 シルバー派遣事業の確立

(1) 派遣先との連絡調整を深め、派遣事業への理解を求める

同一労働・同一賃金に伴う待遇の調整や、派遣会員としてのスキルアップへ向けた研修を実施した。

(2) 労働契約法等への対応

派遣労働会員の通算契約期間の課題について、県連合会と継続協議を行った。

6 社会奉仕活動等

- (1) 就業やボランティア活動を通じて地域社会に貢献し、生きがいや喜びにつなげる
10 月には市内公園 2 か所（73 人参加）、春期には各地域班が主体となつてのボランティア活動（117 人参加）を実施し、地域への貢献を PR するとともに会員間の交流を深めた。
- (2) 互助会と連携した事業（行事）の展開による交流の拡大
互助会各種イベントにおいて広報や実施の協力をし、会員の充実した活動を支援した。
- (3) 環境事業（リサイクル等）に関わる調査研究の継続
互助会が参加するバザー時の出品協力を行った（リサイクル用品、未使用品等）。
多くの市民が興味を持つ環境課題についての講演会（環境・エコ講座）を開催した。